

事業所名

みーおんの森

支援プログラム（居宅訪問型児童発達支援）

作成日

2024 年

12 月

2 日

法人（事業所）理念		子どもたちが楽しく成長できるよう、安全・安心な場所を提供する 子どもと家族が笑顔でいられるよう、他機関・職員が協力、相談し、支援する。					
支援方針		障がい児に対して、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供する事により、療育と相まって障がい児の自立の促進する。障がいの特性や生活の実態に応じて、自立促進、生活の質の向上、場合によっては集団生活に適応する事ができるように適切な支援を行う。障害をもつ児童もひとりの子どもとして尊重され、家族が心豊かな暮らしが続けられるよう、必要な時に、必要な支援の提供ができる場を目指す。					
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態のチェック 障害の特性に配慮し、小さなサインから心身の異変に気付けるようにきめ細やかな観察を行う 生活のリズムを身につけられるよう支援する 衣服の調節、室温の調節や換気、感染予防など健康な生活環境への配慮を行う 医療機関や保護者と連携を図りながら病気の状態を理解する 生活の中で様々な遊びや体験の機会が適切に得られるように環境を整える 時間や空間を本人にわかりやすく構造化する 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上下肢の運動動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図ることなど支援する 活動するうえで必要な基本動作を身につけることができるよう支援する 視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚などの感覚を活動を通じて活用できるように支援する 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ひとりひとりの感覚や認知の特性を理解する 形、色、音が変化する様子、空間、時間の概念の形成を図ることによって、認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援する 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 言語によるコミュニケーションだけでなく、表情や身振り、各種の機器などを用いて意思の伝達ができるように支援する 絵カードや機器などのコミュニケーション手段を選択活用し、他者とのコミュニケーションができるように支援する 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 人に対する基本的な信頼感を持ち他者からの働きかけを受け止め、それに応ずることができるよう支援する 場に応じた適切な行動をとることができるように支援する 自分のできることや苦手なことなど理解して、気持ちや情動を調整し、状況に応じた行動ができるように支援する 遊びや集団活動に参加してお互いの存在を認め合えるよう支援する 安定した情緒の下で生活ができるように支援する 安心感が得られる「安心の基地」の役割を果たせるように支援する 					
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 定期的な保護者面談（発達状況や支援のニーズ確認） お子様との関わり方や兄弟支援等の相談や助言 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 地域の保育園、小学校、生活介護施設等、具体的な移行先との調整、相談支援、連携
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業所や障害福祉サービス事業所との連携 保育園、幼稚園、特別支援学校との情報共有 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 各種勉強会や研修への参加 毎日の職員会議、内部研修の実施
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 季節の行事（初詣、節分、ハロウィン、クリスマス等） 音楽療法・造形活動・スノーズレン 外部講師による読み聞かせ、音楽活動、英語活動 					